

教育研修会

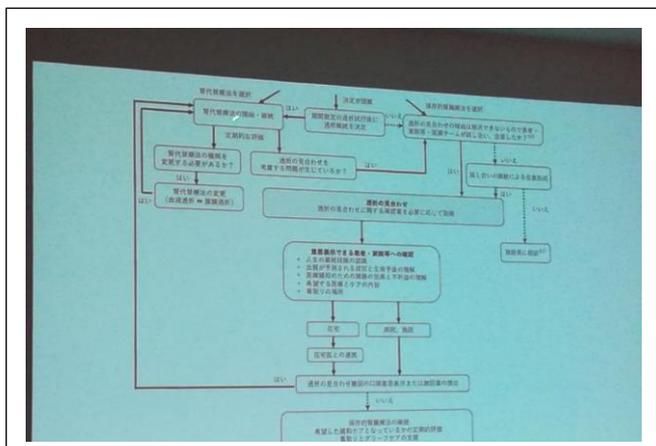
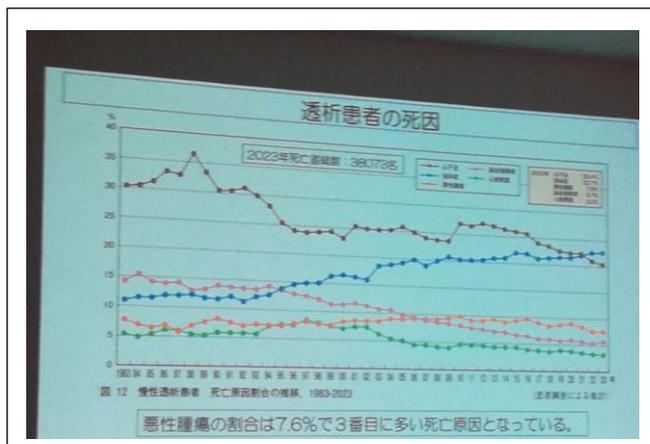
日時：R7年2月18日(火) 17時より開始

場所：新王子病院 4F 会議室A

講師：産業医科大学病院腎センター部長 宮本哲先生

テーマ：直腸癌術後再発をきたした維持透析患者の症例

講義中の様子です。



今回進行性直腸癌の患者の症例でした。この患者は、当院にて持続性血便に対し本人は痔出血と自己診断され受診精査時には下部直腸癌を認め進行性直腸癌と診断。術後に腹膜播種・骨転移・骨盤内再発・陰囊皮膚転移も認められ放射線治療を開始されました。この患者さんは印環細胞という種類の癌で、この癌は非常に悪性度が高く予後が悪い100人に1人ととても珍しい癌とされています。進行も早く、スキルス癌と同じように見なされ、時に混同されますが本来は違うものです。骨やリンパに転移してしまうと生存率は一気に低くなるころは、スキルス胃癌と似ているかもしれません。今回の症例でもあるように、患者さんの中には検査の異常があっても、軽く考え専門医に受診することを拒まれる方も多く見られます。私達医療従事者は、そんな患者にアセスメントをし、もし発見が遅れば大変なりうること、また早期発見できれば治療できることを説明できるよう、日々努力していかなければならないと思いました・